

症例基盤・問題解決型学修（入門）

責任者・コーディネーター	医学教育学分野 佐藤 洋一 教授		
担当講座・学科(分野)	医学教育学分野、地域医療学分野、救急・災害・総合医学講座総合診療医学分野、リハビリテーション医学科、腫瘍生物学研究部門		
担当教員	佐藤 洋一 教授、伊藤 智範 教授、下沖 収 教授、西村 行秀 教授、前沢 千早 特任教授、田島 克巳 准教授、相澤 純 特任講師		
対象学年	1	区分・時間数	演習 42.0 時間
期間	通期		

・学習方針（講義概要等）

公開症例集（Paper Patients）をもとにした問題解決型学習(PBL; Problem based learning)をおこなう。一般的な症候（頭痛、胸痛、腹痛、血痰・喀血、吐血・下血、麻痺、意識障害・失神、運動麻痺・筋力低下、ショック、など）を訴える患者に対して、どのようなアプローチで病気の診断と治療を行えば良いか、またそれを論理的に進める際に必要な基礎的知識と技能が何かを、少人数グループ（履修背景をもとにしたメンバー構成）で調べて、プレゼンテーション資料をつくり、発表と討議を行うコースである。

・教育成果（アウトカム）

症例をベースにした少人数グループ作業による PBL をおこなうことで、常に病者を念頭において、ヒトの体の正常構造と機能、および病態生理を学ぶことができるようになる。また、チームとして作業をする上で必要な、役割分担とコミュニケーション能力が向上する。自己の学修履歴を記録しておく、常に振り返る習慣を身につけることで、自己学修を自律的にこなうことのできる学生になる。
(ディプロマ・ポリシー：2, 3, 4)

・到達目標（SBO）

- ・少人数グループ内で、役割を決めて成果物を作り上げることができる。
- ・チームの和を保ち、良好なコミュニケーションをとることができる。
- ・疾患の理解には、どのような基礎知識が必要となるか、具体例をあげて説明できる。
- ・診断プロセスを述べることができる。

- ・疾患を、病因、症状、鑑別診断、治療、生活指導と社会復帰など多面的な観点から総合的に捉える習慣を身につける。
- ・自己学修の記録をつけることができる。
- ・プレゼンテーションソフトを使って、疾患を系統的に説明できる。

・ 講義日程

(矢) 西 101 1-A 講義室

【演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/17	月	4	医学教育学分野	佐藤 洋一 教授	問題解決型学習 (PBL) とグループワークのイントロダクション 【講義室・顕微鏡実習室】
4/17	月	5	医学教育学分野	佐藤 洋一 教授	臨床医学を学ぶ上で、何が必要で重要かの学修観点を討議する。 【顕微鏡実習室】
5/8	月	4	医学教育学分野 地域医療学分野 腫瘍生物学研究部門 医学教育学分野 医学教育学分野	佐藤 洋一 教授 伊藤 智範 教授 前沢 千早 特任教授 田島 克巳 准教授 相澤 純 特任講師	グループ成果物の発表 【キャンパスモール】
5/8	月	5	地域医療学分野	伊藤 智範 教授	疾病論入門 【講義室】
5/15	月	4	医学教育学分野 地域医療学分野 腫瘍生物学研究部門 医学教育学分野 医学教育学分野	佐藤 洋一 教授 伊藤 智範 教授 前沢 千早 特任教授 田島 克巳 准教授 相澤 純 特任講師	PBL 【顕微鏡実習室】
5/15	月	5	医学教育学分野 地域医療学分野 腫瘍生物学研究部門 医学教育学分野 医学教育学分野	佐藤 洋一 教授 伊藤 智範 教授 前沢 千早 特任教授 田島 克巳 准教授 相澤 純 特任講師	グループ成果物の発表 【キャンパスモール】
5/17	水	3	地域医療学分野 腫瘍生物学研究部門	伊藤 智範 教授 前沢 千早 特任教授	模擬患者診察「症例をどう診るか」 【講義室】
5/17	水	4	医学教育学分野 地域医療学分野	佐藤 洋一 教授 伊藤 智範 教授	PBL 【SGL】

			腫瘍生物学研究部門 医学教育学分野	前沢 千早 特任教授 相澤 純 特任講師	
5/17	水	5	医学教育学分野 地域医療学分野 腫瘍生物学研究部門 医学教育学分野	佐藤 洋一 教授 伊藤 智範 教授 前沢 千早 特任教授 相澤 純 特任講師	PBL 【SGL】
5/22	月	4	医学教育学分野 地域医療学分野 腫瘍生物学研究部門 医学教育学分野 医学教育学分野	佐藤 洋一 教授 伊藤 智範 教授 前沢 千早 特任教授 田島 克巳 准教授 相澤 純 特任講師	グループ成果物の発表 【講義室、マルチメディア教室、 顕微鏡実習室】
5/22	月	5	医学教育学分野 地域医療学分野 腫瘍生物学研究部門 医学教育学分野 医学教育学分野	佐藤 洋一 教授 伊藤 智範 教授 前沢 千早 特任教授 田島 克巳 准教授 相澤 純 特任講師	グループ成果物の発表 【講義室、マルチメディア教室、 顕微鏡実習室】
6/5	月	3	医学教育学分野 地域医療学分野 腫瘍生物学研究部門 医学教育学分野 医学教育学分野	佐藤 洋一 教授 伊藤 智範 教授 前沢 千早 特任教授 田島 克巳 准教授 相澤 純 特任講師	グループ成果物の共有化 【講義室】
6/5	月	4	医学教育学分野 腫瘍生物学研究部門	佐藤 洋一 教授 前沢 千早 特任教授	TBLによる確認テスト 【顕微鏡実習室】
6/5	月	5	地域医療学分野 腫瘍生物学研究部門	伊藤 智範 教授 前沢 千早 特任教授	解説講義 【顕微鏡実習室】
10/27	金	1	リハビリテーション医学科 医学教育学分野	西村 行秀 教授 田島 克巳 准教授	模擬患者診察「症例をどう診るか」 【講義室】
10/27	金	2	医学教育学分野 地域医療学分野 腫瘍生物学研究部門 医学教育学分野 医学教育学分野	佐藤 洋一 教授 伊藤 智範 教授 前沢 千早 特任教授 田島 克巳 准教授 相澤 純 特任講師	PBL 【SGL】
10/27	金	3	医学教育学分野 地域医療学分野 腫瘍生物学研究部門 医学教育学分野 医学教育学分野	佐藤 洋一 教授 伊藤 智範 教授 前沢 千早 特任教授 田島 克巳 准教授 相澤 純 特任講師	PBL 【SGL】
11/17	金	1	医学教育学分野 地域医療学分野 腫瘍生物学研究部門 医学教育学分野	佐藤 洋一 教授 伊藤 智範 教授 前沢 千早 特任教授 田島 克巳 准教授	不自由体験実習

			医学教育学分野	相澤 純 特任講師	
11/17	金	2	医学教育学分野 地域医療学分野 腫瘍生物学研究部門 医学教育学分野 医学教育学分野	佐藤 洋一 教授 伊藤 智範 教授 前沢 千早 特任教授 田島 克巳 准教授 相澤 純 特任講師	不自由体験実習
11/17	金	3	リハビリテーション医学科	西村 行秀 教授	リハビリテーション医学入門 【講義室】
12/15	金	1	医学教育学分野 地域医療学分野 腫瘍生物学研究部門 医学教育学分野 医学教育学分野	佐藤 洋一 教授 伊藤 智範 教授 前沢 千早 特任教授 田島 克巳 准教授 相澤 純 特任講師	グループ成果物の発表 【講義室、顕微鏡実習室A, B】
12/15	金	2	医学教育学分野 地域医療学分野 腫瘍生物学研究部門 医学教育学分野 医学教育学分野	佐藤 洋一 教授 伊藤 智範 教授 前沢 千早 特任教授 田島 克巳 准教授 相澤 純 特任講師	グループ成果物の発表 【講義室、顕微鏡実習室A, B】
12/15	金	3	医学教育学分野 地域医療学分野 腫瘍生物学研究部門 医学教育学分野 医学教育学分野	佐藤 洋一 教授 伊藤 智範 教授 前沢 千早 特任教授 田島 克巳 准教授 相澤 純 特任講師	グループ成果物の共有化 【講義室】
12/22	金	1	総合診療医学分野 腫瘍生物学研究部門	下沖 収 教授 前沢 千早 特任教授	模擬患者診察「症例をどう診るか」 【講義室】
12/22	金	2	医学教育学分野 地域医療学分野 腫瘍生物学研究部門 医学教育学分野 医学教育学分野	佐藤 洋一 教授 伊藤 智範 教授 前沢 千早 特任教授 田島 克巳 准教授 相澤 純 特任講師	PBL 【SGL】
12/22	金	3	医学教育学分野 地域医療学分野 腫瘍生物学研究部門 医学教育学分野 医学教育学分野	佐藤 洋一 教授 伊藤 智範 教授 前沢 千早 特任教授 田島 克巳 准教授 相澤 純 特任講師	PBL 【SGL】
1/5	金	2	医学教育学分野 地域医療学分野 腫瘍生物学研究部門 医学教育学分野 医学教育学分野	佐藤 洋一 教授 伊藤 智範 教授 前沢 千早 特任教授 田島 克巳 准教授 相澤 純 特任講師	グループ成果物の発表 【講義室、顕微鏡実習室A, B】

1/5	金	3	医学教育学分野 地域医療学分野 腫瘍生物学研究部門 医学教育学分野 医学教育学分野	佐藤 洋一 教授 伊藤 智範 教授 前沢 千早 特任教授 田島 克巳 准教授 相澤 純 特任講師	グループ成果物の発表 【講義室、顕微鏡実習室A, B】
-----	---	---	---	--	--------------------------------

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	岩手医科大学基本症例集 (オープン問題)			
教	内科診断学 第3版	福井 次矢、奈良 信雄 編集	医学書院	2016
参	内科学書 改訂第8版	小川 聡 総編集	中山出版	2013
参	Andreoli and Carpenter's Cecil essentials of medicine 9th ed.	Ivor J. Benjamin ほか	Saunders	2016

・成績評価方法

<p>A. 事前自己評価と事後自己評価、及びチーム内の同僚評価をおこなう (2割) B. プレゼンテーションの相互評価をおこなう (1割) C. コースポートフォリオがきちんと書かれているか (2割) D. 医療において基礎医学の重要性を理解しているかどうかを問う試験をおこなう (5割) を総合して、評価する。</p>

・特記事項・その他

<p>シラバスに記載されている内容及び各回に配布・提示される教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。 授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。</p>

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	ノートパソコン	1	講義
講義	プロジェクター	1	講義